



片倉軍
VS
真田軍



第7回

鬼小十郎まつり

—知られざる秘話、ここに再現—

10月4日(土) 白石城本丸広場ほか

PROGRAM

- 10:00 火入れ式
- 10:10 開会式
- 10:25 榊流大町神楽
- 10:40 白石市消防団伝統階子乗り
- 12:40 太鼓演奏
- 13:00 片倉軍 vs 真田軍決戦
大坂夏の陣～道明寺の戦い～

同時開催

鬼小十郎まつり当日、すまいるひろばでは、「道明寺の戦い」出演エキストラによる出陣式やエフエム仙台「白石よござりす」の公開録音、「鬼小十郎まつり協賛茶会」など、さまざまなイベントを開催！「会場ではなかなかおまつりが見られない…」という方も甲冑武者を間近に見られるチャンスです。すまいるひろばでのイベント詳細は、鬼小十郎まつり公式サイトをご覧ください。

大坂夏の陣 ～道明寺の戦い～

慶長20(1615)年、大坂夏の陣で激闘を繰り広げた片倉軍と真田軍。「鬼小十郎」の異名をとった二代目片倉小十郎重長対智将・真田幸村両軍の激戦と、幸村が息女・阿梅を重長に託す感動のシーンを総勢110名を超えるエキストラが再現します。

全国から参加する約60人の甲冑武者や片倉鉄砲隊、キューブ新体操教室、仙南広域消防本部レスキュー、白石高等学校弓道部、オーディションを勝ち抜いた専門学校デジタルアーツ仙台の学生たちが熱演します。目の前で繰り広げられる熱き戦を、来て、見て、感じてください！

鬼小十郎まつり協賛者募集中！

のぼりでまつりを応援しませんか。色は片倉軍が黒、真田軍が赤の2種類(180cm×60cm布製)で、まつり当日の市内を彩ります。協賛金は1口1万円。まつり終了後、希望される協賛者の方にのぼりを差し上げます。募集期間は9月9日(火)まで。詳細はお問い合わせください。



◎白石城主片倉小十郎によるまちづくり実行委員会 (市役所2階 企画情報課内) ☎0224-22-1324
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/kikaku/onikojyuro/

※会場周辺の駐車場には限りがあります。また、当日は混雑が予想されますので、あらかじめご了承ください。



第27回全国健康福祉祭とちぎ大会

ねんりんピック栃木 2014

咲かせよう！ 長寿の花を 栃木路で

平成26年10月4日(土)～7日(火)

10月4日(土)～7日(火)、栃木県内で開催される「ねんりんピック栃木2014」の「水泳交流大会」と「囲碁交流大会」に、本市から3人の選手が出場します。

「ねんりんピック栃木2014」は、60歳以上の方々がスポーツ・文化交流大会などで楽しみながら交流を深める総合的な祭典です。

◎長寿課 ☎22-1361

白石市出場選手紹介



水泳
ほしな 保科 ひろみさん

「水泳交流大会」に参加する保科ひろみさんは、背泳ぎ25m・50m、リレー2種目の計4種目に出場します。保科さんが水泳を始めたのは、水泳選手だった2人の娘さんたちが大会で泳ぐ姿を見て、「楽しそうだな。一緒に泳げたら良いな」と思ったのがきっかけ。難しい年ごろの娘さんたちとも水泳が共通の話題となり会話が弾むこともあったそうです。これまでも全日本マスターズ大会など全国大会への出場経験が豊富な保科さん。普段の練習は週5～6日で、1日に2,000m程を泳いでいます。保科さんは「水泳の魅力は、疲れていても水に浮くとリラックスでき、気持ち良くなってくる。本大会の目標は自己ベスト更新と、他県の選手と交流を深めること」と語り、「最近はお孫さんとリレーチームを組んだ大会がとて楽しかった。次は孫も加えて親子三代リレーに出たい」と水泳を始めたばかりのお孫さんを見つめながら、笑顔で話してくれました。

夢は親子三代リレー



水泳
たけうち 米子 さん

プレッシャーを楽しみたい

「水泳交流大会」に参加する竹内米子さんは、25mバタフライ、50m自由形、混合フリーリレーの3種目に出場します。竹内さんが水泳を始めたのは6年前。「子育てが一段落して、何か始めようと思えばスポーツジムに出掛けました。プールで泳いでいるのが楽しそうだったので泳ぎたくなった」のがきっかけ。「初めて25m泳げた時は感激した」そうです。普段の練習は週4～5日程度。大会前は特に力を入れて取り組みますが、無理はしないように気をつけているそうです。家族の理解とコーチや仲間たちにも恵まれ、楽しみながら練習に励み、本大会への出場権を獲得しました。竹内さんは「水泳の魅力は、水の中で自分だけの世界に入ることができる。リラックスすることができる。一番好きなのはバタフライ。イルカのような感じが好き」と語り、「あまり気負わず、プレッシャーを楽しみに変えて泳ぐこと」と本大会への抱負を話してくれました。

目標は全国優勝

「囲碁交流大会」の団体戦と個人戦に参加する佐々木忠法さん。佐々木さんは「碁のまち白石を作る会」の会長を務めています。子どものころから将棋が好きで、将棋を指してきた佐々木さんですが、入学した大学に将棋部が無く、しかたなく囲碁部に入部したのが囲碁を始めるきっかけでした。囲碁歴40年以上の佐々木さんは、宮城県内の大会では、これまでも上位の成績を取ってきた実力者ですが、全国大会出場は本大会が初。普段の練習は仙南地区で月3回程度開催される大会で仲間たちと腕を磨いているほか、毎週土曜日に中央公民館で囲碁教室を開催し子どもたちの指導にもあたっています。



囲碁
ささき ただのり 忠法さん

佐々木さんは「囲碁の魅力は想像力。人生のドラマが凝縮され、夢を盛り込まないと勝てない。少しずつの変化の積み重ねで勝敗が決まる」と、囲碁への思いを語り、「本大会の目標は、全勝で優勝すること」と力強く抱負を話してくれました。